第3期甘楽町子ども・子育て支援事業計画（素案）に対するパブリックコメント実施結果

1 意見募集期間

令和6年12月25日（水） から 令和7年2月3日（月） まで

2 閲覧場所

町ホームページ、役場窓口、 にこにこ甘楽

3 直接持参 1名（意見数1件） メール提出 2名（意見数5件）

No.	意見（要旨）	町の考え方
1	多額の建設費用が捻出される事が懸念される児童館の設置は今後の検討事項とし、まずは保育園・認定こども園・学童保育・放課後子ども教室に係る事業について関係職員の方への手当拡充、雇用促進、施設設備の充実に事業費を活用してはいかがでしょうか。	<p>「児童館の設置」は、保護者へのニーズ調査では多くの方が設置を希望する結果となっております。設置にあたっては、児童館機能だけでなく、若者支援機能、多世代交流機能等さまざまなニーズに対応できるよう、設置場所、形態、費用含め、様々な議論を重ねながら慎重に検討いたします。</p> <p>保育園・認定こども園・学童保育・放課後子ども教室関係職員への手当拡充、雇用促進、施設設備の充実にについては適宜対応しておりますが、今後もよりよい運営に向けて取り組んでいきます。</p>
2	子どもたちの居場所は必ずしも新たな箱となるものを作るだけでなく、短期的なイベントでも作れると考えます。町に既存する「子育て連」「稲舎塾」「何にもしない合宿」「婚活パーティー事業」等団体行事に予算の捻出をし、イベント等の拡充を目指してはいかがでしょうか。	<p>子ども関係のイベントについては、第4章3節（2）子どもを守り育てる活動に記載しております。</p> <p>子育て連行事については「子ども会活動等の支援」、その他の団体行事等については「活動団体等への支援」の中で状況を踏まえながら必要に応じて検討してまいりたいと考えております。</p>

3	<p>児童館の開館時間の設定について、「平日限定開館・夕方閉館」ですと、使用できる人口は限られてしまいます。</p> <p>どのようなサービスが必要か、子育て世代の保護者を集め、検討会のようなものを開催してはいかがでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見として、児童館開設時の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>子育て世代を中心に「住み続けたい町」を目指す取り組みを今後も引き続き行っていただきたく、必要であれば有識者会議などで、様々なご意見を取り入れるのはいかがでしょうか。</p>	<p>本計画の策定においては、子ども・子育て審議会委員（子育て世代、子どもに関係する機関の関係者、学識経験者等）の皆様から様々なご意見をいただきました。今後も必要に応じて、子育て世代をはじめとした皆様からご意見をいただき、「住み続けたい町」を目指し取り組みを進めてまいります。</p>
5	<p>全国的に広がってきているラーケーションの導入を検討してほしい。</p>	<p>ラーケーションは、学習を意味する「ラーニング」と休暇を意味する「バケーション」をかけあわせた言葉で、子どもが学校以外の場所で保護者と体験活動などを行うことで学びを深めてもらう取り組みです。</p> <p>現段階では本町においてラーケーションの導入は考えておりませんが、必要に応じて検討してまいりたいと考えております。</p>
6	<p>子どもの英語教育を推進するため、ALTの増員や英語圏との交流に取り組んでほしい。</p>	<p>ご意見を踏まえて、乳幼児期からの英語教育推進の取り組みを計画書 34 ページ[乳幼児教育の推進]に追加しました。</p> <p>現在、町のALT（外国語指導助手）は4名で、各小中学校に1名配置しております。現段階ではALTの増員を行う予定はございません。</p> <p>英語力向上のための施策については今後も検討してまいりたいと考えております。</p>